

企画展「箕輪先生の思い出～川崎の星空とともに～」の報告

國司 眞*

A report of Special exhibition " memories of Toshiyuki Minowa teacher along with the starry sky of Kawasaki "

Makoto Kunishi

1. はじめに

箕輪敏行先生は川崎市の学校教育、社会教育そして地域文化の育成に多大な貢献をされました。この報告は先生の業績をより多くの皆様にお伝えするために企画展の内容を掲載するものです。

2. 企画展の概要

- ・開催期間：2015年9月16日（水）～11月3日（祝）
- ・展示場所：かわさき宙と緑の科学館エントランスホール
- ・来場者数：55,467人
- ・主催：かわさき宙と緑の科学館
- ・協力：川崎天文同好会



図1. 展示風景.

3. 各パネルの概要

A1版パネルを使用し、写真資料とともに寄稿していただいた文章をそのまま記載した。以下は展示内容の一部抜粋。

パネル1 「ごあいさつ・箕輪敏行先生のご紹介」

箕輪敏行先生は、日本で初めて行われた流星写真二点観測に関わるなど、星空の美しさを伝える活動にご尽力されました。そして川崎天文同好会創立の立役者でもあります。また科学館設立の際には、学校教育・社会教育両面で活用できる施設となるよう、科学館運営協議会の部会長として大活躍されました。

この展示は、箕輪敏行先生の業績を川崎の天文や教育にゆかりのある方々にご紹介いただきました。どうぞごゆっくりご覧ください。

かわさき宙と緑の科学館館長：島田秀雄



図2. 川崎天文同好会総会で挨拶される箕輪先生(2009年4月).

箕輪敏行先生略歴

- | | |
|-------------|---------------|
| 1918年 7月 | 川崎市に誕生 |
| 1938年 3月 | 神奈川県師範学校卒業 |
| 1938年 4月 | 川崎市立小学校勤務 |
| 1953年 5月 | 川崎天文同好会創立 |
| 1956年 2月 | 神奈川県教育委員会表彰 |
| 1966年～1979年 | 川崎市立小学校校長 |
| 1973年 10月 | 神奈川県教育委員会表彰 |
| 1979年 11月 | 川崎市文化賞 |
| 1979年 11月 | 神奈川県松友会松沢奨励賞 |
| 1984年 7月 | 河出書房新社星の手帖チロ賞 |
| 1997年 2月 | 小惑星 Minowa 誕生 |
| 2004年 10月 | 日本気象学会奨励賞 |
| 2006年 8月 | 瑞宝双光賞 |

パネル2「65年前の流星写真二点観測」



図3. 西生田小学校から箕輪観測所に移設された流星写真儀

(1955年11月) 左から香西先生、箕輪先生とご長男、富田先生、内田先生.

*川崎市青少年科学館 (かわさき宙と緑の科学館)
Kawasaki Municipal Science Museum

1949年、東京天文台天体掃索部（現国立天文台）の富田弘一郎先生が、西生田小学校の校庭を借りて、日本で初めての流星写真二点観測（東京三鷹と川崎西生田）の準備をされていた時、地元の箕輪敏行先生と山田昌一さんが積極的に観測に協力されました。それがきっかけとなり川崎天文同好会が設立され、1951年から私が所属していた東京理科大学天文部がこの観測に参加するようになりました。

最初は箕輪先生のお世話で、西生田小学校の廊下や通用口を臨時的観測控え場所としていましたが、寒い冬に連続観測するために観測小屋を作ることになりました。箕輪先生のご好意で香林寺の境内に土地を借り、3坪ほどの天文部観測小屋を作って、そこで部員が代わる代わる寝泊まりして観測に参加しました。その間、箕輪先生とご家族の方々に、多くのご支援を受けて観測を続けることができたのです。

その当時、西生田小学校周辺の星空は、天の川がはっきり見えて、本当に星が降るようでした。少なくとも肉眼で5等星までは見えたと思われます。

（文）河原郁夫：元神奈川県立青少年センター天文課長

パネル3「川崎天文同好会の創立と市民観望会」



図 4. 川崎授産学園で実施したハレー彗星観望会（1985年11月）右から二人目が箕輪先生。

川崎天文同好会は1953年に箕輪先生と私他7名の同人と35名の会員により創立されました。会員は箕輪先生が指導されていた小学校理科学研究会の方々が多く、その他太陽、惑星、流星、日食、等々の観測をする多彩な天文同好の人々で構成されていました。会の活動として観測の成果発表の他、天文普及に取り組み、翌年には箕輪先生を代表者として川崎市役所前で初めての市民天体観望会を行い

千人以上の参加があり、学会誌や新聞にも紹介されるユニークな会になりました。その後、川崎市文化協会に加盟、同観望会は毎年秋に市の後援を得て行われ、1971年JR登戸駅前で行われた観望会では、約9千人が観望しました。また箕輪先生は川崎授産学園に車椅子でも観望できる天文台を寄贈され、1982年から同学園で市民天体観望会が始められ現在でも行われています。

1985年には同学園で口径84cmの大望遠鏡でのハレー彗星観望会が企画され、応募者が殺到しました。

（文）奥野賢雄：川崎天文同好会会員

パネル4「受け継がれる気象観測」



図 5. 西生田小学校第1回気象観測部員、中央望遠鏡後が箕輪先生（1948年3月）。

私が西生田小学校赴任中、箕輪先生に気象観測を始めた昭和22年当時のことを伺うことができました。

「戦後まもなく生田小学校から独立した西生田小学校では、砂埃の昇降口までもが教室だった。」「何もない時代の子どもたちに、何か科学的なことが教えられないかと思い、竹筒の中に入れた温度計から気象観測を始めた。」そして、「何もない時代の子どもたちだが、かえって勉強しようという意欲は大きかった気がする。」と、当時の子どもたちのことをふりかえっておられました。

こうしてはじめられた観測ですが、先生や子どもたちの思いが、「ブリキの風向計」「よるい戸(トイレの窓)の百葉箱」「自作風力塔」等、形づくられ、手づくりの観測所、観測機器ができます。

同時に観測実績も大いに認められ、昭和25年には農林省の観測委託や横浜気象台の測候所として、わずか数年の間に西生田小学校の気象観測の礎はつくられました。

箕輪先生は、当時の理科教育を大きく発展させただけで

なく、以後 60 年間のデータは数々の科学作品等を生みだし称賛されるなど伝統が継承されています。

今も毎年市内小学校に配付される「気象カレンダー」や「川崎の気象」は西生田小学校の観測がもとになっています。

現在、気象観測はセンサーとコンピューターにより自動記録ができるようになりました。

しかし、「子どもたちに何か科学的なこと・・・」先生の思いは、西生田小学校の子どもたちに脈々と受け継がれ、今もなお子どもたちの手によって欠かすことなく観測はつづけられています。

(文) 小川俊哉：川崎市立東柿生小学校校長

パネル5「川崎市青少年科学館の開館」



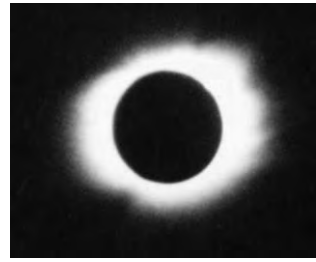
図 6. 川崎市青少年科学館の開館。

箕輪先生に初めてお会いしたのは、私が神奈川県立青少年センターに就職した年、そのセンターの敷地内に 1874 年の金星日面経過観測記念碑を、100 周年を記念して建てるという話をしに来られた時が最初でした。

その後、私は川崎市青少年科学館へ転勤しました。転勤して知ったことは、科学館建設・プラネタリウム設置は箕輪先生を先頭にした川崎市の校長会、理科教育研究会、川崎天文同好会の熱心な設置を求める運動によるものだったということです。以後先生とお付き合いさせて頂き、公私ともに色々面倒を見て頂きました。

ご承知のように先生は歌人であり、天文・気象をはじめ実に幅の広い活動をされた方です。色々教えて頂きました。私はプラネタリウムを一生の仕事とし充実した人生を送らせて頂きましたが川崎へ転勤したからこそ、その転勤先を用意してくれた人が箕輪先生ですから、先生は私の人生を大きく左右した方だったと今更ながら思い知らされております。感謝！

(文) 若宮崇令：茅野市八ヶ岳総合博物館館長



パネル6「箕輪先生と日食」



図 7. アフリカ皆既日食 (1973 年 6 月) 図 8. 沖縄金環日食 (1987 年 9 月)

(箕輪先生撮影)

箕輪先生は皆既または金環日食の観測のため国内外に出かけておられます。箕輪先生が自費出版された、歌集『天球』のあとがきに、「1973 年のアフリカ皆既日食の観測報告集『第三太陽を追って』を、師匠である佐藤佐太郎先生にお送りしたところ、『氷海の落つる白夜の反照が雲に映りて虹色となる』など 11 首良い歌があった、というお葉書を頂戴し嬉しさで手が震えてしまった」と記されています。上の写真はそのアフリカで撮影された、皆既日食です。

箕輪先生とは、1987 年 9 月 23 日の沖縄金環日食にご一緒させていただきました。ホテルに到着すると、フロントで箕輪先生が大声で激怒しています。その夜、落ち着いた頃にお聞きしてみると、「小川君よー、冗談じゃーねーや」とまだ憤慨していらっしやる。真相はこうなのです。観測場所を確認したところ、「沖縄はまだ暑い。川天の皆様は高齢の方が多いと伺ったので、涼しい場所を用意した」との支配人の説明があり、それはなんと日陰でした。箕輪先生のご尽力で場所は移動し、金環日食は良く観測出来ました。

その晩のこと、ご機嫌の箕輪先生に「支配人は日食がどういふものか知らないのですよ」と申上げたところ、先生は破顔一笑となりました。後年、この時の支配人のことが話題となるたびに、お互いに大笑いしたものです。嘘のような本当の話です。

(文) 小川誠治：川崎天文同好会会員

パネル7「星と短歌の世界」

箕輪先生は歌人として、さまざまな歌を詠まれました。星空の歌、大空の歌、川崎の自然と気象、世界各地で起こった皆既日食、教育者として出逢った人々、ご家族への想

い、先生の瞳に投影された大正・昭和・平成の時代が三十一文字の中に凝縮されています。

天文講演会「星と短歌の世界」では、先生が詠まれた星や宇宙に関する短歌をご紹介します、その時の星空をプラネタリウムで再現しました。



図9. 青少年科学館天文講演会「星と短歌の世界」で講演される箕輪敏行先生 (2005年3月)。

1968年9月、シベリア・アルマータで起こった皆既日食観測に遠征された際に詠まれた歌があります。

「日食の暗き影々天山の山に落つれば雪ひかりくる」

この日食で、先生はもう一首詠まれています。

「吾も又兵なりきここに生きて日本人墓地にぬかづかんとす」

観測に同行した大学生が「なぜここに日本人墓地があるのですか？」と尋ねました。先生は「お前は歴史を知らんのか！」と驚愕されたとお話されました。箕輪先生が自費出版された歌集『天球』『ハレー彗星』『黒い太陽を追って』『地球照』『太白星』『冬銀河』には、すべてを包み込む宇宙への想いが綴られています。

(文) 國司 眞：科学館天文担当職員

パネル8「光害反対運動」



図10. 星空を照らす回転サーチライト(1972年)。

ボーリング場などによる、回転サーチライトは星の観測に支障をきたし、プロアマの天文家が一体となった反対運動が盛り上がり、箕輪先生は日本の星空を守る会の事務局長として運動の推進役となりました。大石環境庁長官に陳情するなどして、1972年10月のジャコビニ流星群の極大期の一晩、サーチライトを消すことが出来、マスコミが大きく報じました。この陳情書の紹介議員のひとりに、私が親しくしていた岩垂寿喜男衆議院議員がいました。時は流れ、1996年9月24日、川崎天文同好会がヘール・ボップ彗星の接近に伴い、光害の自粛をするよう環境庁に陳情しましたが、当時の長官はその岩垂議員でした。

「岩垂長官に陳情した際、長官から君の話が出て盛り上がったぞ」—こんなハガキを箕輪先生から頂戴しました。岩垂長官の肝いりで、彗星接近時には国会議事堂のライトアップを一時中止し、その後光害問題が環境行政の施策のひとつに入れられるなど、箕輪先生が行った回転サーチライト反対運動が国の厚いカベを動かし、大きな花を咲かせました。このお話をするたびに、箕輪先生の顔がほころびました。

(文) 小川誠治：川崎天文同好会会員

パネル9「忠犬クマ公物語」



図11. 中学時代の箕輪先生と愛犬クマ。

箕輪先生は小学校4年生の時に父親を亡くされたので、防犯のために飼っていたのがクマという雄犬でした。先生は、小田急線西生田駅(現読売ランド前駅)まで通学のた

め自転車で行くが、ついてきて、ホームで先生の隣にちょこんと座っています。電車が来ると、あっちへ行けと手を振るが「ワンワン」と吠えては電車の中に入り、別の出口から出るまで電車を止めてしまい、車掌さんに謝ったこともありました。

売店のおばさんに、先生が行った後のクマはどうしているか聞いたら、「坊ちゃんが行ったあと、一日中自転車の番をしていて、荷台にある坊ちゃんの黒い軍手を、通りがかりの人がからかい半分、可愛さ半分で触ると、噛み付くように吠えるんです」という。

学校帰りに西生田駅のホームに到着すると、クマが坐って待っていて、先生が「クマ」と大声で叫ぶと、クマは飛びついてきて土だらけの足を顔まで持ってきて、泥だらけにしたそうです。クマは毎日のようにホームで先生を待っています。ちょうどその頃、渋谷駅ではハチ公が主人の帰りを待つと評判になっていて、箕輪先生のクマ公も村周辺で話題となっていました。

ある晩、午前3時過ぎにクマのけたたましい鳴き声に先生は目が覚めました。突然、どさどさっ、と離れの西の垣根を超える足音が聞こえ、「おめえがいるからへえれねえや」という鈍い声が聞こえてきました。「泥棒だ、泥棒だ」と言って、母とお手伝いさんを起こし、念仏の鐘や菓子缶をガンガン叩く。「イテテテテ」クマが噛み付いたのだろう。大男らしい泥棒はやがて去って行きました。

箕輪先生の著作『かんさつ手帖』の写真及び文章を引用しました。 (文) 小川誠治：川崎天文同好会会員

4. 終わりに

企画展を開催するにあたり、箕輪敏行先生から科学館に寄贈された天文資料の整理及び保存について多大なご協力をいただいた川崎天文同好会の内野哲氏、小川誠治氏、そして展示の文書執筆をお願いした皆様に厚くお礼申し上げます。

